

志津城下

南参道

上志津
探訪マップ

小さな発見の

小さな散策旅

知って感じる志津のまち



志津城物語

鎌倉と室町時代……

志津城は白井城の支城のひとつで

千葉氏一族志津次郎胤氏（たねうじ）の居城でした。

幼くして城主となった白井城主である兄の子「若竹丸」を亡き者にと野心をいただき

一度は白井城主となりますが、乳母に助けられやがて成人した

若竹丸は名を興胤（おきたね）と改め、本領を回復し白井城へ戻ります。

志津城に退去させられた志津次郎胤氏は主従の礼を怠り、やがて兵を向けられ滅亡。

志津城落城時、胤氏のかわりに薙刀（なぎなた）をふるって戦った妻君の武勇伝が

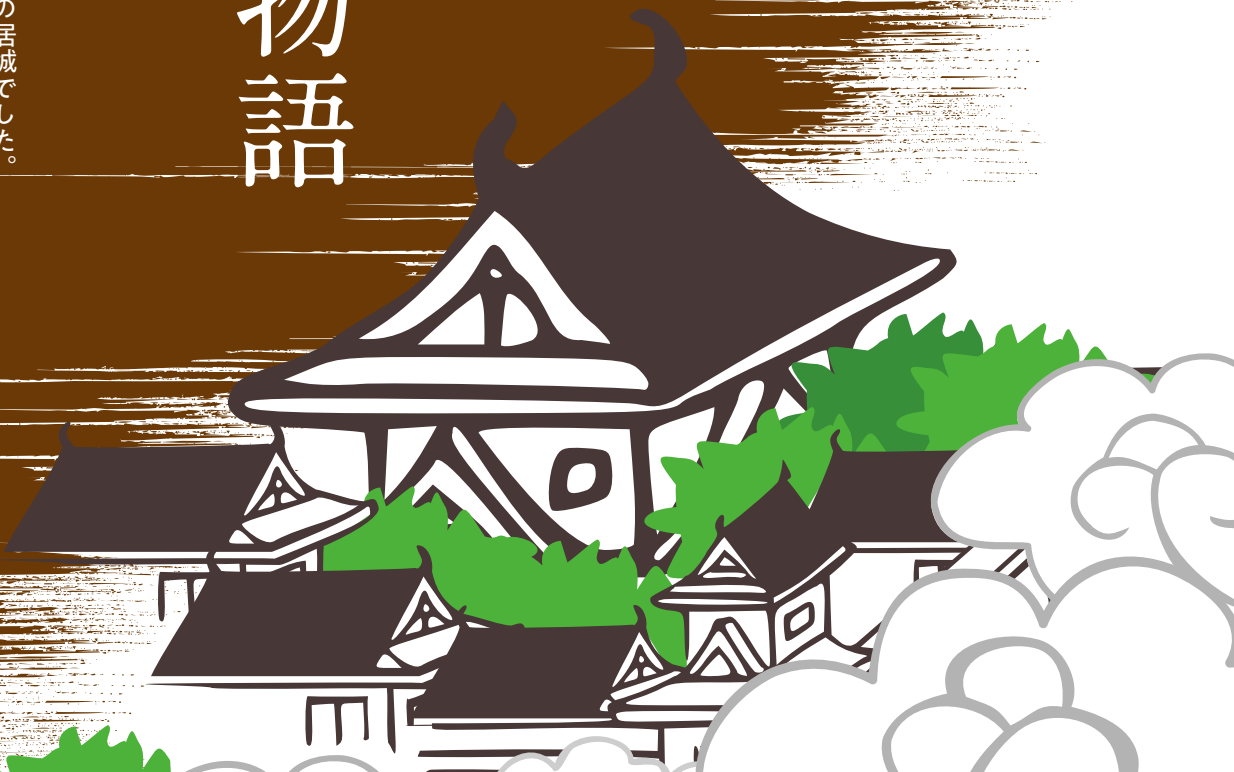
領民に末永く伝えられ、讃えられています。

一説には胤氏は帰農したともいわれ、この地域に

志津姓が多いのは、その末裔だとも言われています。

近年、この地から室町時代の骨つぼ（かめ棺）が発見され、城主

志津次郎胤氏のもものでは？と、関係者間で話題になりました。



上志津 探訪マップ

志津城下町の姿を歴史から感じる



1 Spot はちまんじんじゃ 八幡神社



創建は寛永3年(1626)と伝えられ、本殿の側面にほどこされた彫刻は、大きな見どころのひとつ。きれいな清められた境内は、常緑広葉樹林の閑静な佇みを残し、「上志津の杜」として地域の憩いの場として愛されています。

2 Spot みなみしづこうえん 南志津公園



上志津の杜のとなりにある多目的な芝生公園。緑豊かで80種類もの植物をめぐることができます。周囲を遊歩道により散歩ができますが、調整池としての役割を持ち、大雨のときなどは利用できません。ここには上志津川の水源があるとされています。

3 Spot わしのみやじんじゃ 鷲宮神社



八幡神社表参道の登口にある小さな社で、天日鷲神(あめのひわしのかみ)を祭神としています。創建は不明ですが、地域の方がよくお参りをする姿を目にします。

4 Spot さいふくじ 西福寺と石仏群



阿弥陀如来を本尊とし、三百数十年前、井野の千手院の隠居寺として建てられました。境内左手の塚には出羽三山参拝記念供養塔がたくさん建てられていて、出羽三山信仰が盛んな土地柄だったことがわかります。上志津からの参拝者が泊まった宿坊の記録には元禄の時代から187名のお名前が記されています。

5 Spot おざわけ 小沢家のケヤキ



西福寺の隣の小沢家にある大きなケヤキです。樹齢約300年、志津で最も大きい木といわれています。幹周りは約5.65メートル。小沢家と地域のみなさんに大切にされ今もこの地域を見守るかのようによびえています。

6 Spot いやしの里山・清水台



標石があるこの里山には印旛沼に注ぐ水源のひとつで湧き水のかん養域となっています。私有地となっている敷地の山裾から清水が湧き出ていますが、見学は残念ながらできません。

7 Spot いなりじんじゃ 稲荷神社



ここは、私有地に建てられた神社です。石造りの神使である狐が迎えられている。巻物をくわえた像もあり話題に!その意味は、知恵の象徴といわれています。

8 Spot あめのみなかめしじんじゃ 天御中主神社と志津城跡



鳥居をくぐり、石段を登ると大きな骨つぼ(かめ棺)が巨木に囲まれた社殿が姿をあらわします。地域の方々「妙見さま」と呼ばれ親しまれており、この神社とその周辺が志津城跡といわれています。近年、この地から大きな骨つぼ(かめ棺)が遺物の入った状態で発見され、志津次郎胤氏のものでは?と話題になりました。佐倉市教育委員会で復元され保管されています。歴史浪漫をかきたてられますね。



11 SOPT 志津駅 & 志津駅南口商店会

志津駅の南口にのびる商店街は「シヅミナ」の愛称で親しまれている商店会。「笑顔の入口」をモットーに、みなさんをおもてなししています。



各種 SNS で情報発信しています「志津駅南口商店会」で検索 ▶



10 Spot 上志津新田の石仏群



石仏を祀るために一画が確保されています。庚申塔、二十三夜塔や馬頭観音などが祀られています。刻まれた文字を読んでもみるのも歴史散策の楽しみのひとつです。

9 Spot なかむらけ 中村家長屋門



江戸時代長屋門は身分によって厳しく制限され、武士、名主などに限り許されていました。中村家は佐倉藩堀田家の配下に属し、道場を開いていたといわれています。保存状態もよく貴重な文化財のひとつです。

●引用・資料：歩いてみよう” 志津史跡・いまむかし” 宮武考吉氏著 (大空社出版)